平成21年3月24日 北海道新聞朝刊

教育ファームで子どもが変わる 地域が変わる

2008年6月～10月／北海道札幌市・砥山（とやま）農業小学校の活動報告

ボクのなかの農業が、ぐーんと成長した！

札幌市内から車で40分。砥山地区の農家が週末に開校する「砥山農業小学校」は、今年で7年目を迎えました。農業小学校は、周辺の小学校に通う児童や保護者を対象に、ジャンボかぼちゃの栽培やリンゴの収穫、果物の花を使った小物づくりなど、感動体験がてんこ盛り。参加した子どもたちの「発見」や「喜び」の声を聞いてみましょう。

農業小学校に参加した
子どもたちの感想文より…

じゃがいも

たねいもをきるとき、手がきれそうだったので、きんちょうしました。
じゃがいもをうえるときは、おいしくなるといいなと思いながらうえました。
じゃがいもをほるときは、おいしくなったかなと思いながらほりました。
とれたてのじゃがいもは、とてもおいしかったです。

2年生・男の子

のう業小学校で楽しかったこと

わたしは、のう業小学校でおいしかったくだものが、いっぱいあります。とくにおいしかったのは、さくらんぼです。そして、みことちゃんと、友達になれてうれしかったです。
あとは、ぶどうのかわはぎをしたことです。どこがおもしろかったかというと、かわがうまくはがせたりしたからです。こんどいけたら、もっとうまくやりたいなあと思っています。
勉強になったことは、いろいろなものをつくるのは、たいへんなんだなあと思った。わたしの家もそだてているけど、もっとあったらどんなにかたいへんなのかなと思いました。
来年もの う業小学校をやりたいと思います。

4年生・女の子

おもいで

わたしはジャンボかぼちゃをうえるときに、いっぱい大きくなってねっておもって、たねをまきました。そして、ほんとうに大きくなってうれしいです。
のうぎょうしょうがっこうにいけて、ほんとうにうれしいです。
あと、のうぎょうしょうがっこうには、おともだちがいっぱいいて、ともだちがいっぱいできて、たのしいなあっておもいました。

1年生・女の子

農業小学校に入学して

とくに楽しかったことは、ツリークライミング、ぶどうがり、プラムがり、自然遊び、八剣山でじゃがいもを収穫するときに、マルチをはがしたらヘビがでてきて、つかまえたことが楽しかったです。
農業小学校に参加して、農業のこと、ハチはぶどうが甘いかすっぱいかわかる、りんごは太陽の光が当たらないと赤くならないので、葉のかげになっていたら葉をとらなければいけない、ということが勉強になりました。
これからは、できるだけ残さないように大切に思って、農家の人に感謝しながら食べていきたいです。

6年生・男の子

●なぜ、ブドウの樹の皮をはぐの？
新しい表皮と古い表皮の間に害虫が入ってしまうので樹が枯れないように、幹や枝の古い皮をはがします。
長さ2～3メートルもの皮がいっきにむけるのは快感で、子どもたちに大人気の体験です。

「教育ファーム」ってな～に？

教育ファームは、生産者（農林漁業者）の指導を受けながら、作物を育てるところから食べるところまで、一貫して体験する機会を提供する取組みです。

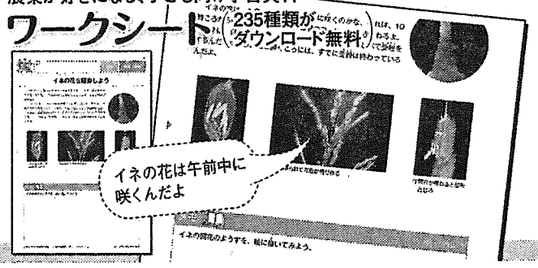
この体験（育てる―食べる）を通して

自然の力やそれを生かす知恵と工夫を学び、生産の苦労や喜び、食べ物の大切さを、実感を持って知ることが目的。いま、地方発！本物の農林漁業体験＝教育ファームの元気な輪が広がっています。

農文協は、教育ファームに
役立つ情報を提供しています。

「教育ファームねっと」の一部を紹介すると…

農業が好きになる、子ども向け学習資料
ワークシート
235種類がダウンロード無料！



いま、教育の場として田んぼや畑が面白い
現地レポート
（実践のお役立ち情報）

この他にも、取組みのコツを紹介する「実践の勘どころ」のコーナーや、139の団体が取組む「教育ファームモデル実証地区」など、先進事例の情報が満載！

お問い合わせ先
（社）農山漁村文化協会　提携局内「教育ファーム推進事業」事務局
〒108-8668　東京都港区赤坂7-6-1
TEL.03-3585-1144　FAX.03-3585-6466
e-mail　f-edufam@mail.ruralnet.or.jp

教育ファームねっと　検索

写真提供：アグリネットななえ（北海道・七飯町）

農林水産省 平成20年度にっぽん食育推進事業「教育ファーム推進事業」